

二本松第 1 団の活動紹介

二本松第 1 団の活動の一部をご紹介します。

ねこくとじょう 子の刻登城

「子の刻登城」は二本松第 1 団を象徴する伝統行事です。大晦日に二本松市にある「二本松城跡」頂上の本丸跡で新年を迎えます。

22 時頃に団本部である真行寺に集合。年明け前に頂上に着くように出発し、除夜の鐘を聞きながら新年を迎えます。その後、団本部に戻り真行寺の住職から新年の法話をいただきます。

子の刻登城は発団以来 50 年以上、一度も欠かすことなく行われており、団員はこの行事をとっても大切にしています。



写真は箕輪門前

団キャンプ場整備

二本松第 1 団で力を入れている活動をご紹介します。二本松第 1 団の団キャンプ場整備です。

二本松第 1 団では毎年、春のキャンプを団キャンプ場で行っていましたが、しかし東日本大震災による原子力発電所の事故の影響で放射線量が上がってしまい、数年間団キャンプ場を使用することができなくなってしまいました。その間、キャンプ場には立ち入ることができず荒れ放題となっていました。

現在、二本松第 1 団ではそんな団キャンプ場を復活させようとベンチャースカウトを中心に整備活動を行っています。団キャンプ場は細い山道を通ってでしか行くことができないため、大きな機械を持ち込むことができません。そのためほとんどの作業を手で行わなくてはなりません。大人数で集まれる機会も多くはないため、とても地道な作業です。それでも震災前よりも快適なキャンプ場にしようと頑張っています。

